

県立大学小浜キャンパスを 育てる会

会報



ごあいさつ

会長 松崎 晃治

地域の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は本会の諸事業に格別のご理解と、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、昨年から落ち着きを見せ始め、福井県立大学においても対面授業が再開されるなど、本来の大学の日常が戻ってまいりました。

このような状況の中、昨年4月には、水産増養殖を専門的に学ぶことが出来る「先端増養殖科学科」が設置され、その第一期生となる30名が小浜キャンパスで学生生活を始められています。また、この8月には、新たに「かつみキャンパス」が完成し、10月から同学科の学生が学びを深めていく予定です。

今後は、海洋生物資源学科の定員と合わせ、毎年約80人の学生が本市で新生活を送ることとなり、地域により一層の活気が生まれるとともに、将来の地場産業を担う人材の育成等に繋がるものと大きな期待を寄せているところです。

育てる会としても、このような転機を迎える県立大学の活動などを支援するとともに、学生・教員の皆様と、地域との交流の機会を設けることで、大学と地域が共に発展できるよう、事業を展開してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ごあいさつ

福井県立大学海洋生物資源学部長 水田 尚志

「小浜キャンパスを育てる会」の皆さまには、定置網漁業体験や魚加工品作製体験、さらには学生や教員の研究フィールドの提供など、本学海洋生物資源学部における教育および研究に対して多大なるご理解とご協力・ご支援をいただき、誠に感謝しております。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、いくつかの交流事業を再開することができ、大変うれしく思っております。今年度はより多くの交流事業が実施できることを楽しみにしています。

また、今年8月にはかつみキャンパスに「先端増養殖科学科」の新学科棟が完成し、10月から供用が開始されます。さらに、小浜キャンパス開設30周年、海洋生物資源学臨海研究センター開設20周年という節目の年でもあります。

海洋生物資源学部のより一層の発展のため、常に地域や社会への貢献につながる活動を意識しながら、教育および研究活動の充実を図りたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

育てる会 からのお知らせ

育てる会では、地域の方々に県立大学をより身近に感じていただくために、また、学生の皆さんには、若狭地域により愛着を持っていただくために、様々な事業を実施しています。令和4年度においては、大学祭（白樺祭）の一般開放が行われるなど、徐々にコロナ禍前の活気が戻ってまいりました。

「令和4年度 総会・講演会」を開催しました！

〈令和4年6月〉

令和4年6月16日（木）に働く婦人の家（大手町）で令和4年度の総会・講演会を開催しました。1年間の事業方針や計画が承認された後、福井県立大学海洋生物資源学部の山田和正 助教に『小さな藻の基礎研究～その実際と魅力～』と題してご講演いただきました。

「学生生活応援事業」を実施しました！

〈令和4年8月〉

新型コロナウイルス感染症の拡大や、物価高騰により、大学生の学生生活に大きな影響が生じていることを鑑み、育てる会から小浜キャンパスに在籍する全学生（172名）に対して、地元で生産・製造された食料品を配布しました。

漁業体験が実施されました！

〈令和4年9月〉

宇久定置網有限会社の浦谷俊晴 様、^{うらたにとしはる}県立大学の教員のご協力のもと、小浜市宇久において、定置網漁の体験が行われ、学生の皆さんが、地域の一次産業の現場を肌で感じました。育てる会からも企画実施への補助金を支援しました。



出張キャンパスのご案内



令和4年度に行われた出張キャンパスの様子

会では、小中学生の皆様に海をはじめとする自然に対する興味を深めていただくため、また、小浜キャンパスを身近に感じていただくために、小浜キャンパスの教員や学生による出前講座「出張キャンパス」を実施しています。

私たちの生活に身近な話題をわかりやすく、楽しく教えていただきます。

ぜひ、総合学習の時間等でご活用ください。きっと新たな発見がたくさんあります！詳しくは、

県立大学小浜キャンパスを育てる会事務局（小浜市未来創造課内）
TEL 0770-64-6008（直通）までお問い合わせください。

大学祭「第30回 白樫祭」が開催されました！

〈令和4年10月〉

令和4年10月1日（土）、2日（日）に県立大学小浜キャンパス（学園町）で「再海（さいかい）」をテーマに第30回白樫祭が開催されました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、学内のみで開催されましたが、令和4年度は、一般公開で開催され、コロナ禍前の活気が戻ってまいりました。育てる会からも企画実施への補助金を支援しました。

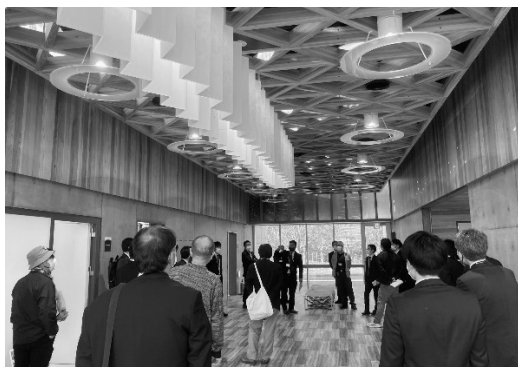


「施設見学会・研修会」を開催しました！

〈令和5年3月〉

令和5年3月10日（金）、2月に完成した県立大学小浜キャンパスの新講義棟や、魚類飼育室、電子顕微鏡室の見学会を開催しました。当日は会員37名が参加しました。見学後は、博士前期

課程1年の矢倉卓磨様、三上大智様から研究成果の発表をしていただきました。



令和4年度 県立大学小浜キャンパスを育てる会 事業報告

5月	10日	令和4年度 計画会議
	16日	令和4年度 総会
6月	20日	令和4年度 若狭地域産学官水産連絡会議 第1回幹事会
	28日	会報 第29号発行（市内全戸配布）
7月	26日	令和4年度 若狭地域産学官水産連絡会議 総会
8月	2日	学生生活応援事業（食料品等支援） 学生172名に食料品を配布
	19日	出張キャンパス（口名田小学校） ・県立大学海洋生物資源学部 田原 大輔 教授 「南川の魚の生態」
	26日	出張キャンパス（熊川小学校（若狭町）） ・県立大学海洋生物資源学部 山田 和正 助教 「学校では習わない藻の話」
9月	26日	教育G Pへの支援（宇久漁港定置網漁業体験）
10月	1日、2日	大学祭（白樫祭）への支援 （広報・模擬店買い物券発行・補助金・前日準備・備品運搬等）

12月	1日	出張キャンパス（西津小学校） ・県立大学海洋生物資源学部 松川 雅仁 准教授 「若狭の海の幸を活かす加工のはなし」
	14日	出張キャンパス（鳥羽小学校（若狭町）） ・県立大学海洋生物資源学部 近藤 竜二 教授 「海の微生物」
1月	25日	出張キャンパス（本郷小学校（おおい町）） ・県立大学海洋生物資源学部 松川 雅仁 准教授 「若狭の海の幸を活かす加工のはなし」
3月	10日	学生・教員等が案内する施設見学会（交流事業） ・海洋生物資源学部 新学部棟 他 見学
	10日	令和4年度 研修会 ・県立大学生物資源学研究科 矢倉 卓磨（博士前期課程1年）「Spi-C 遺伝子の魚類に特有な機能を探る」 ・県立大学生物資源学研究科 三上 大智（博士前期課程1年）「外来種ミズワクチルケイソウの活用」
	24日	令和4年度 若狭地域産学官水産連絡会議 第2回幹事会
通年		学生に対する各種情報の提供

小浜キャンパス
からのお知らせ

かつみキャンパスに 先端増養殖科学科の新学科棟が完成します

令和5年8月に「先端増養殖科学科」の新学科棟がかつみキャンパスに完成し、10月から供用を開始する予定です。

先端増養殖科学科とは

先端増養殖科学科では、水産増養殖に関する現状と問題点を科学的に理解し、先端技術を実践的に活用する能力を身につけることで、「増養殖分野」でリーダーシップをもって活躍できる人材を育成することを目指しています。これらを実現するため、新学科では①水産増養殖の知識と技術を少人数で深く学ぶ、②新しい飼育施設と若狭湾をフィールドにして魚類、無脊椎動物、藻類などの生産技術を基礎から応用まで学ぶ、③若狭地域で水産増養殖に関わる方々から指導を受けて実践的に学ぶ、などのカリキュラムを組んでいることが特徴です。

かつみキャンパス

かつみキャンパスは、永平寺・小浜・あわらの既存キャンパスに続く4番目のキャンパスとして、令和4年（2022年）4月に小浜市堅海地区に設置されました（図1）。

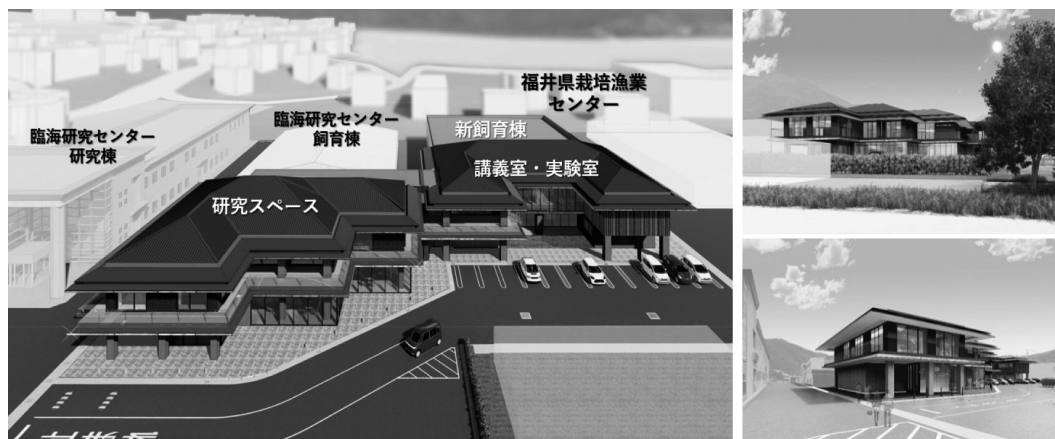
かつみキャンパス新学科棟の特徴

先端増養殖科学科では2年後期の専門科目を学ぶ時期からかつみキャンパスがメインキャンパスとなります。新学科棟は研究講義棟と新飼育棟から形成されます。（図2）

研究講義棟は教員と学生のスペースが隣接し、コミュニケーションが潤滑に行えるように工夫されています。また、1階には広いサロンが配置されており、学習や憩いの空間としてだけでなく、地域の人たちとの交流もできるようになっています。

新飼育棟は遺伝子組み換え実験のためにP1Aレベルの拡散防止措置をとっており、設備としては陸上養殖試験が行える閉鎖循環水槽を備えるなど、増養殖に関する最先端の研究や実験が行えるよう設計段階から研究者の意見を取り入れた造りになっています。

また、かつみキャンパスには隣接して、本学臨海研究センター、福井県水産試験場栽培漁業センター、福井県水産試験場企画先端研究部（ふくい水産振興センター）があり、産官学揃った水産研究拠点「かつみ水産ベース」を形成しています。



（図2）かつみキャンパス 令和5年8月完成予定



（図1）各キャンパスの位置

沿革

- 平成 4年 4月 福井県立大学 開学
- 平成 5年 4月 福井県立大学小浜キャンパス 開設
- 平成 8年 4月 福井県立大学大学院博士前期課程開設
- 平成10年 4月 福井県立大学大学院博士後期課程開設
- 平成15年 3月 海洋生物資源臨海研究センター開設（堅海）
- 平成19年 4月 公立大学法人化－「公立大学法人福井県立大学」に移行
- 平成21年 4月 海洋生物資源学部 開設
- 平成24年 9月 若狭高校と連携協定締結
- 平成25年10月 小浜キャンパス開設20周年記念式
- 平成29年 3月 県立大学と小浜市において「包括的連携に関する協定」の締結
- 令和 4年 4月 福井県立大学かつみキャンパス開設 海洋生物資源学部に「先端増養殖科学科」開設



学生状況

(令和5年4月現在)

		学 生 数	
海洋生物資源学部		海洋生物資源学科 1年（永平寺キャンパス）	53名（男：37名 女：16名）
		先端増養殖科学科 1年（永平寺キャンパス）	31名（男：25名 女：6名）
		海洋生物資源学科 2～4年（小浜キャンパス）	157名（男：121名 女：36名）
		先端増養殖科学科 2年（小浜キャンパス）	30名（男：26名 女：4名）
大学院	博士前期課程	海洋生物資源学専攻（小浜キャンパス）	21名（男：13名 女：8名）
	博士後期課程	海洋生物資源学専攻（小浜キャンパス）	3名（男：2名 女：1名）
合計		海洋生物資源学科 1年（永平寺キャンパス）	53名（男：37名 女：16名）
		先端増養殖科学科 1年（永平寺キャンパス）	31名（男：25名 女：6名）
		海洋生物資源学科 2～4年、海洋生物資源学専攻生（小浜キャンパス）	181名（男：136名 女：45名）
		先端増養殖科学科 2年（小浜キャンパス）	30名（男：26名 女：4名）

就職・進学状況

(令和5年3月末日現在)

- 内 定 状 況… 全体：100.0% 男：100.0% 女：100.0%
- 主な県内就職先… 福井県漁業協同組合連合会、小浜海産物(株)、京福コンサルタント(株)、福井県庁、小浜市役所
- 主 な 進 学 先… 福井県立大学大学院、東京海洋大学大学院、九州大学大学院

教職員状況

(令和5年5月現在)

- 教 員…教授：15名 准教授：14名 助教：1名
- 事務職員…事務：5名 司書：1名 専門事務・事務補助等：9名



令和5年度白樺祭開催日

10/7 土 ~ 8 日



新任教員紹介

海洋生物資源学部先端増養殖科学科 教授 奥澤 公一



2022年4月1日付で先端増養殖科学科に着任しました奥澤公一と申します。こちらに来る前は約30年間、国の研究所で魚の繁殖生理の研究をしてきました。その間オランダに1年間、フィリピンに2年間の海外経験があります。国内の赴任地は三重、神奈川、沖縄、大分とすべて海辺に所在するところでした。今回も海のそばのかつみキャンパスで働けることとなりました。こちらでは魚の育種の研究を担当します。現在は民間企業と共同でマダイの育種にとりくんでいます。福井県や小浜市の漁業に役立つ研究もしていきたいと思います。日本海側は初めてですが、自然が美しくお魚がおいしいという印象です。これからどうぞよろしくお願いいたします。

海洋生物資源学部先端増養殖科学科 教授 濱口 昌巳



和歌山県出身、愛媛大学大学院で学位取得後、水産庁の研究所で勤務、昨年度から本学に赴任しています。

広島にある水産庁の研究所で30年以上勤務し、干潟や藻場の保全に関する研究をしてきました。さらに、研究所が広島にあったことからカキの分類や生態、カキ養殖関連の調査や研究も行ってきました。最近では、国内外のブルーカーボンや海洋酸性化に関する研究プロジェクトにも参画しています。小浜に赴任して以降、これらの研究経験を活かして小浜湾や周辺海域のアマモや藻場の保全研究、海洋酸性化の影響評価、ブルーカーボン機能の評価、カキ養殖に関わる調査研究も開始しており、これらを通じて地元貢献できればと考えています。

海洋生物資源学部先端増養殖科学科 教授 吉浦 康寿



2022年4月より先端増養殖科学科に着任しました吉浦康寿と申します。

前職の水産研究・教育機構では新たな品種改良技術の開発として突然変異やゲノム編集の技術を養殖魚（トラフグ、マダイ）に導入し、民間会社と共同で優良品種（肉厚、高成長トラフグ）を作出し、世に出してきました。この経験を生かして、若狭湾で養殖されているマサバ、ニジマス、ヒラメ、マガキ等の品種改良にも挑戦してみたいと思っております。

趣味のロードバイクを通じて、地元の方々と協力して若狭の自然や文化の魅力を全国に発信する活動も行っておりますので、気軽にお声がけいただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

海洋生物資源学部海洋生物資源学科 准教授 松林 順



2023年4月より海洋生物資源学科に着任しました松林と申します。これまで、同位体分析という手法を用いた生態学的な研究を進めてきました。もともとは、ヒグマやオオカミなどの大型哺乳類を対象とした食性分析を行っていましたが、最近ではサケやカツオを対象として、同位体比に基づく回遊経路推

定手法の開発を進めています。福井県立大学では、これまでに取り組んできた研究を継続しつつ、ブリやサクラマス、トラフグなどを対象として、同位体分析に基づく回遊経路推定や養殖・天然個体の識別に基づく生態学的な研究に取り組みたいと考えています。

海洋生物資源学部海洋生物資源学科 准教授 やまもと まさゆき 山本 昌幸



2023年4月より海洋生物資源学科に着任しました山本昌幸と申します。私は、長崎大学卒業後、香川県の水産試験場と水産課で、資源管理の推進、カタクチワシやカレイ類の生態・資源変動、放流効果などの業務に携わってきました。今後は、これまでの経験を生かして日本海の豊かな海の恵みを持続的に利用するための研究をしていく予定です。

小浜市といえば、「ちりとてちん」での浜焼き鯖と塗り箸が印象深いです。現在は小鯛の笹漬や醤油干などの海の幸、日本酒、小浜西組の街並みを楽しんでおります。これからは、小浜市の豊かな食・自然・文化を生かして、皆さんと地域貢献に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

海洋生物資源学部先端増養殖科学科 准教授 にしつじ こうき 西辻 光希



2023年4月より先端増養殖科学科に着任しました、大阪出身の西辻光希と申します。

以前は沖縄にて、植物ではない海藻モズク類や海ぶどうのゲノム情報を用いた品種改良法の開発などを行ってきました。若狭湾は、岩モズクや千島モズク、若狭ワカメ、フサイズタなど魅力いっぱい。現場の声を聞きつつ、若狭の海藻研究をしたいと考えております。

小浜市には家族で引越して参りました。全員が食文化や伝統産業に加え、皆様の暖かさ・親切さに感激しております。これから小中高校を含む地元の方と一緒に、研究や教育などを通じた地域貢献できるよう頑張りますので、気軽にお声がけいただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

海洋生物資源学部先端増養殖科学科 准教授 やすぎ まさき 八杉 公基



2023年2月1日付で福井県立大学海洋生物資源学部の准教授として着任いたしました、八杉 公基と申します。京都で学位を取得したのち、滋賀、愛知、宇都宮と転々としながら教育研究活動を行ってきました。魚どうしの相互作用を調べる過程で身に着けた動画画像処理技術を活かして、魚の成長や健康を自動的に記録・追跡しながら養殖を行えるシステムを実現したいと考えています。

小浜には15年ほど前に旅行で訪れたことがあります。海がきれい、魚介の美味しさに感激したのをよく覚えています。また和歌山県の手賀島出身ですので、海の近くで生活できますことを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願い致します。

学生 インタビュー



氏名：岩崎あずさ
学年：3年生
(令和5年 海友会会長)
出身地：京都府

1 福井県立大学（海洋生物資源学部）に進学したきっかけは？

幼いころから水族館や海が好きで海洋生物についても興味がありました。高校生になり、進学を決めたときに好きなことを大学で学びたいと考えていた時、福井県立大学を知りました。そこで、日本海側唯一の海洋生物資源学部ということに魅力を感じて進学しました。

2 現在どのような勉強（研究）をしていますか、これから取り組みたい研究分野は？

基礎的な生物学、地学などの学習に始まり、現在は海洋生物資源に関わる微生物学、藻類学、食品化学や海流などについて幅広く学んでいます。私は、特に海洋生物の生態や行動に興味があります。海洋環境中の生態系と生物の関係やその保全策について研究してみたいと考えています。

3 休日（+夏季・春季休暇）はどのように過ごしていますか？

自分の趣味や友人との旅行などが多いです。大学生である今だけしかできないような経験や思い出を作りたいと考えています。

4 小浜の印象は？

多くの自然に囲まれており、何よりも海が近いということが印象的かつ小浜市の魅力だと感じています。また、私の出身である京都との関わりについて知り、歴史ある素敵な地域なのだと感じています。

5 一言アピール等

コロナによる制限もほとんどなくなり、以前のように過ごせるようになってきました。様々な行事、イベントが全国各地でより一層盛り上がりを見せているように感じています。福井県立大学では昨年に引き続き、地域の方々にも楽しんでいただけるような学祭やイベントを行っていきたいと考えています。小浜市と福井県立大学小浜キャンパスとのつながりがより深くなるようなものにしたいです。

県立大学小浜キャンパスを卒業後に地域で働く若者を紹介します

育てる会インタビューより

海洋生物資源学部の卒業生夫婦の紹介です！
エネルギー溢れる2人の今後の活躍に期待です！



ファイナダー越しの私の世界で地域を魅せる

Funafilm & Photoworks

なかむら たけひろ
中村 雄浩 さん (26歳)

海洋生物資源学部卒

北海道の倶知安町に生まれ、4歳頃から今に至るまで釣りに親しんできました。その影響もあり、いつしか、魚に関する仕事に就きたいと考えるようになりました。大学は魚のことを学べるということで、県立大学に進学しました。大学では、日向湖の物質循環の季節変化に関する研究に励みました。

学生時代は、とにかく「釣り」、「旅」に生きる生活で、ボルネオ島の原住民の家にホームステイしながら、ジャングルで釣りをしたことが最も思い出深い体験です。

現在は、動画クリエイター兼フォトグラファーとして、主に映像制作を手掛けています。映像が完成したときの制作依頼者、また、その映像を見る他の方の笑顔も見ることができ、とても嬉しく感じます。

これからも、人の大切な時間を切り取り、一生モノの思い出を形にしていきたいです。

学生と私、一心同体で若狭を元気に

若狭高等学校 海洋科学科 教員

なかむら えみり
中村 恵美莉 さん (27歳)

海洋生物資源学部卒

南越前町の出身で、高校時代は山に囲まれた生活を送っていました。

ある時、「渦潮のでき方」をテレビで見たことをきっかけに、普段は目にしない海に興味をわき、県立大学を志すことになりました。

大学では、船舶に取り付けられている流向流速計のデータの有効活用法の研究をしながら、教職課程を履修しました。

昔から、運動に苦手意識がありましたが、奮起し参加したライフセービング部では、様々な人たちとの繋がりができ、自身の人間としての大きな変化を感じました。

現在は若狭高等学校の教員として、「子どもたちの未来のために」をやりがいに、水産に関わることを学生に教えています。

私もまだまだ学生とともに成長し、皆さんと一緒にこの若狭という地域に貢献していきたいです。

令和5年度会員募集のお知らせ

「県立大学小浜キャンパスを育てる会」は平成3年度に設立され、以来、地域と大学との結びつきを深め、地域に開かれた大学・市民に親しまれる大学となるよう、オープンカレッジや白樫祭など各種事業への支援や学生と会員・地域との交流など独自のイベントを開催し、積極的に事業を推進しています。

育てる会の活動にご協力をお願いします。

主な活動内容(令和4年度の活動実績)

- * 大学と地域の連携強化に向けた取組み
- * 白樫祭への支援
- * 教員、学生と会員、地域との交流
- * 学生が体験する定置網漁への支援
- * 学生が取り組む研究内容の発表
- * 出張キャンパスの実施
- * 学生生活応援(食料品支援)事業

年会費：個人会員 3,000円 団体会員 10,000円

申込方法：電話もしくは下記までお越してください。

問合せ先：「県立大学小浜キャンパスを育てる会」事務局

(小浜市企画部未来創造課内)

TEL:0770-64-6008(直通)

団体会員

小浜市
美浜町
ホテルアーバンポート
小浜海産物株式会社
小浜市区長連合会
小浜商工会議所
小浜製綱株式会社
ホテルせくみ屋
株式会社時岡組
株式会社平田不動産
株式会社福邦銀行小浜支店
株式会社ママーズストア
株式会社ラボ
福井県立若狭高等学校
(一社)若狭青年会議所
若狭湾観光株式会社

おおい町
若狭町
株式会社イワタ
小浜市議会
小浜市校長会
小浜商店街連盟
桑田テント株式会社
有限会社タカノ
農事組合法人国富
福井缶詰株式会社
株式会社ファニーアート
三福タクシー株式会社
れいなん森林組合
若狭河川漁業協同組合
若狭とびうお会

高浜町
株式会社アイビックス若狭支店
小浜魚商協同組合
小浜市漁業協同組合
小浜市食品加工協同組合
小浜信用金庫
京福コンサルタント株式会社
大和交通株式会社
有限会社平田印刷
福井銀行小浜支店
株式会社まちづくり小浜「おばま観光局」
矢代観光協会
(一社)若狭おばま観光協会
若狭建設工業株式会社
福井県農業協同組合小浜支店

個人会員

秋道 優太	東 武雄	阿部登記造	石田 一郎	一圓 敏彦	市橋 和廣	伊藤 秀幸
猪嶋 宏記	今井 静雄	今井 伸幸	岩崎 好信	岩田 拓美	岩田 敏夫	浦谷 俊晴
江上 恒夫	大山 祐子	岡 拓司	岡田 昌樹	岡本 紗季	奥城 直喜	小畑志津子
垣本 正直	片山 守	角野 覚	加門 健二	川嶋 和雄	川代 友広	川代 雅和
川道 明	木崎 秀治	貴志 和之	岸本 洋一	北尾 一成	北野 絹子	木村 清美
休位 敏彦	国嶋 健一	窪田 光宏	熊谷 久恵	小寺 光雄	小西 淳二	小林 尚貴
齊藤 健太	佐藤 善一	澤谷 欣弘	塩野喜一郎	食見 直孝	食見 礼子	重田 敬之
重田 洋輔	下仲 隆浩	芝田 明和	嶋田 幸起	清水 淳彦	清水 博敬	新野 秀志
杉左近孝夫	杉谷 正美	善定 末雄	高井 幸一	高鳥 徹也	高橋 敏恵	高山 智子
高山 久弥	竹内 裕喜	田中孝次郎	田中信太郎	谷口 竜哉	玉川 正隆	團 留美
檀野 清隆	辻 日出雄	堂前 廣	中島 嘉文	仲谷 齊士	中西 武司	中野 春雄
中村 有一	野路 進	橋本長一朗	畑田 恭央	浜頭 浜江	浜岸 吉満	速水 誠智
東野 克拓	東野 洋士	福谷 敏弘	藤田 和弘	藤田 成一	藤本 周次	古谷 義次
前川 昭彦	松岡 靖洋	松崎 晃治	松原 拓也	松見 一彦	松山 貢	的場 貴志
三原 一太	宮台 俊明	村上 利夫	森下 博	森下 裕	森下 泰裕	山岸 博之
山口 雅巳	山崎 正博	山副喜代美	山本 祐也	湯上 忠明	吉岡隆太郎	吉田 善人
吉田 良三	吉村 明	四方 宏和				

■ 上記の皆さまにご入会いただいております。(令和5年5月現在)

発行：県立大学小浜キャンパスを育てる会 会長 松崎 晃治 事務局：小浜市企画部未来創造課